

出前授業実施テーマリスト

大阪ユニセフ協会

2024年6月現在

A. ユニセフ基本学習

No	内容	所用時間
1	ユニセフってなに?・・・「ユニセフの歴史」「ユニセフの組織」「子どもの権利条約とユニセフの働き」「ユニセフの役割」など	約15分
2	ユニセフの主な活動・・・「水と衛生」「保健」「栄養」「教育」「子どもの保護」「緊急支援」など	それぞれ15分程度
3	ユニセフ募金と募金でできること（ユニセフ支援物資紹介）	約10分

B. テーマ別学習

No	内容	所用時間
1	平和学習・・・「紛争」「難民」「地雷」など	各30分 ～45分
2	国際理解・教育問題・・・「学校に行けない子どもたち」「児童労働」「子ども兵士」「児童婚」など	
3	子どもの命と成長・・・「栄養」「水と衛生」「感染症と予防接種」など	
4	SDGs(持続可能な開発目標)・・・「なぜSDGs?」「ユニセフのSDGsへの取り組み」「SDGs実現のために私たちにできることは?」など	
5	SDGs(持続可能な開発目標) 目標13:気候変動に具体的な対策を「気候変動・異常気象と子どもたちの生活」	

C. ワークショップ

No	内 容	所用時間
1	<p>フォトランゲージ 世界の子どもたちの厳しい状況を写した写真を見て、何を感じたかをグループで話し合い、意見をまとめることを通じて、世界の子どもたちの現状についての理解を深めます。 人数：1グループ 6-8名 × 10グループ程度まで</p>	45～50分
2	<p>100人の村から 世界を100人の村に見立て、それぞれに配られた役割カードに従って移動するゲームで、世界の人口、水と衛生、栄養、富の配分の不均衡について学びます。 解説を交えながら貧困から派生する各種問題に苦しむ子どもたちの状況を考えます。 人数：概ね50～200人</p>	45～50分
3	<p>緊急時に持ち出すものは？ グループに分かれて、災害に見舞われたり、紛争に巻き込まれたときに何をもち出すか？品物の名前・絵が描かれたカードの中から決められた個数を選びます。 各グループが持ち出すものを発表した後、さらに持ち出し個数を減らさなければならない状況が発生したことを想定して、どれを捨てるかを考えます。 人数：1グループ 4～6名 × 10グループ程度まで</p>	45～50分
4	<p>クイズで学ぶ 世界の様々な課題を、クイズ形式で子どもたちに問いかけ、一緒に考え、体験することで、世界の子どもたちの厳しい現実について学びます。 世界の人口、栄養、水と衛生、教育などの課題や関連する問題について説明し、世界の現状に理解を深めます。 人数：概ね20～200人</p>	45～50分
5	<p>支援物資見学と体験 ① 水汲み体験(水がめ運び) ② マラリヤ予防の蚊帳展示・体験 ③ 地雷レプリカ展示・見学 ④ ユニセフ支援物資の展示・見学 上腕計測メジャーでの栄養不良児検査 写真パネル展示</p>	内容に 応じて設定

- ◇ 内容・時間配分は、担当ボランティアと相談いただき、プログラムを作成します。
- ◇ 上記テーマリストは標準的な内容を列記しています。その他のテーマにつきましても にご要望にそって打合せの上、対応させていただきます。
- ◇ Zoomを使ったオンライン授業も実施しています。